

- 金子国土交通大臣は、中東情勢に伴う物資の供給の偏り・流通の目詰まりについて現場の声を伺うべく住宅建築、自動車整備の現場を訪問した。
- 各現場からは、石油製品が入手しづらい状況が続いているといった声が寄せられた一方、供給状況の情報が重要である、製品をメーカーが需要家に直接販売するスキームが安心材料となるといった意見も上がった。

視察概要

令和8年6月18日(木)午前、金子国土交通大臣は、東京都内の住宅建築及び自動車整備の現場を訪問。



住宅建築の現場



自動車整備の現場

住宅建築の現場から寄せられた声

- ◆ 業界全体を見れば、一部改善の兆しはあるものの、現在も、建材・設備の納期が長い、調達しにくいなどの影響が続いており、特に調達力の弱い一人親方などへの影響が大きい。
- ◆ 当社(視察先事業者)の場合、流通店と密接に連携しつつ、建材・設備について、必要量に見合う量を、必要な時期を明示して計画的に発注することにより調達している。
- ◆ 周りには厳しい状況にある方もいらっしゃるので、国交省には、きめ細かく丁寧に対応してほしい。
- ◆ 国の対応状況や建材メーカー等の供給状況に関する情報提供は工事の見通しを立てるためにも重要であり、引き続き、積極的に進めてほしい。

等

自動車整備の現場から寄せられた声

- ◆ 業界全体としては、自動車の塗装に必要なシンナー等の石油製品は、入手しづらい状況が現在も続いている。
- ◆ 一方、当社(視察先事業者)の場合、エンジンオイルやギヤオイルについて、必要となる量や時期を早めに仕入先へ示す工夫をすることで、確保できている。
- ◆ 少し前まで入荷時期が未定となっていた洗浄剤(パーツクリーナー)が最近になって入荷した。
- ◆ 政府が6月10日から新たに導入した、エンジンオイル等の潤滑油をメーカーが需要家に直接販売するスキームについては、より安心材料になる。

等

全地方整備局等において、関係団体を通じてアンケート（6/3～6/12）を実施。あわせてヒアリングを実施中。

- アンケートでは、一部資材の必要量を確保できておらず、かつ、工事に大きな影響を生じているとの回答が18%。
- 経産省や経産局、資材メーカーとも連携し、以下のとおり、品目ごとの供給状況の把握や情報提供も含め、よりきめ細かく供給の偏りと流通の目詰まりの改善に向けた取組を実施

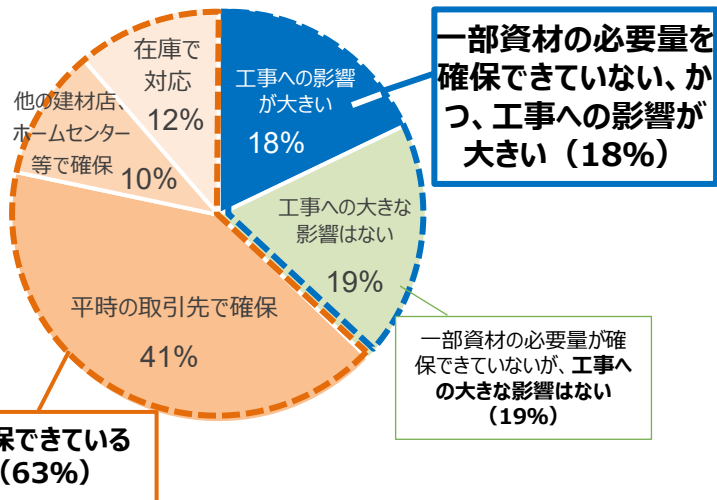
- ・塗料・シンナー：シンナーについて、6月23日から直接販売の仕組みの運用開始
- ・断熱材：業界団体から6月以降も前年並の生産が可能であるとの見通しを公表
- ・塩ビ管：業界団体から6月以降も前年並の生産が可能であるとの見通しを公表
- ・ユニットバス：メーカーから通常通りの注文受付及び標準納期での対応の再開の公表

■ アンケート結果及び地方整備局等によるヒアリングにおける声

アンケート実施時期：6/3～6/12 対象：251団体（加入企業数・構成員数：約26,000社^{※1}、約59万人^{※2}） 回答：4,256件

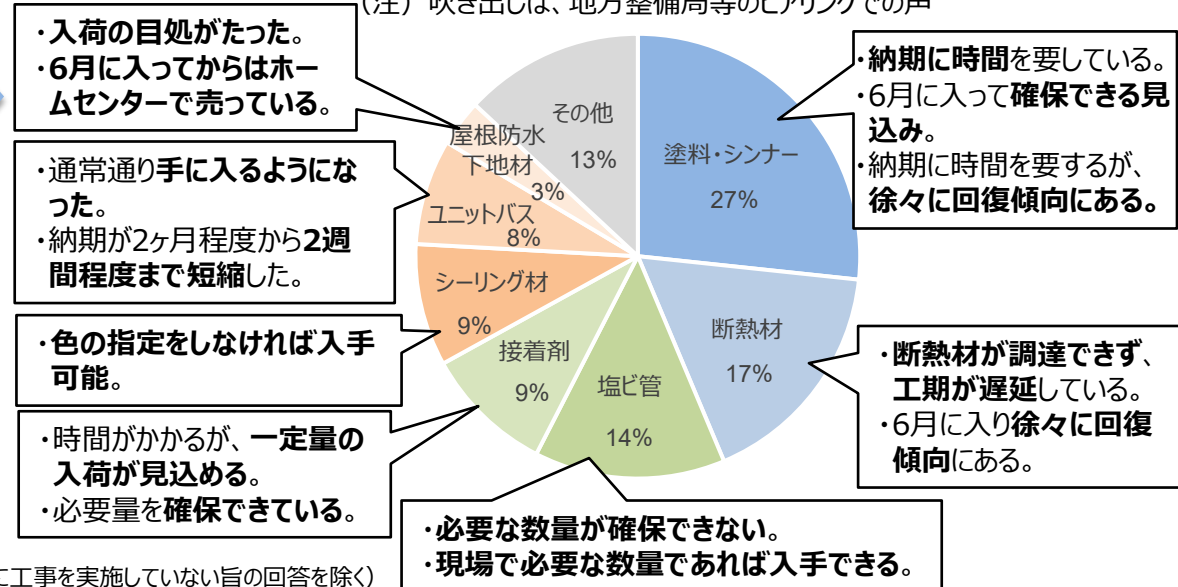
※1 全建総連を除く団体の会員数、 ※2 全建総連の構成員数

資材確保の状況（n=4,150^{※3}）



確保できていない資材の内訳（n=742^{※4}）

（注）吹き出しは、地方整備局等のヒアリングでの声



- ・入荷の目処がたった。
- ・6月に入ってからはホームセンターで売っている。
- ・通常通り手に入るようになった。
- ・納期が2ヶ月程度から2週間程度まで短縮した。
- ・色の指定をしなければ入手可能。
- ・時間がかかるが、一定量の入荷が見込める。
- ・必要量を確保できている。

- ・納期に時間を要している。
- ・6月に入って確保できる見込み。
- ・納期に時間を要するが、徐々に回復傾向にある。

- ・断熱材が調達できず、工期が遅延している。
- ・6月に入り徐々に回復傾向にある。

- ・必要な数量が確保できない。
- ・現場で必要な数量であれば入手できる。

※3 アンケートにおける資材ごとの回答数（流通事業者からの回答を除く）の合計（現に工事を実施していない旨の回答を除く）

※4 「一部資材の必要量を確保できていない」、かつ、「工事への影響が大きい」と回答したものの合計

- 自動車のエンジンオイルやシンナー等の物資の供給状況を把握するため、自動車整備・バス・タクシー・トラック事業者に対し、アンケート調査を継続的に実施中
- アンケートに寄せられた5月下旬からの2週間と、6月上旬からの2週間の供給に関する不安の声の数を比較すると、エンジンオイルについては75%減、シンナーについては86%減と減少傾向
- 一方で、現在も物資の調達に苦勞されている事業者がおられるため引き続き、供給の偏りや流通の目詰まりの解消等に向けた取組を実施

■ アンケートによる状況把握

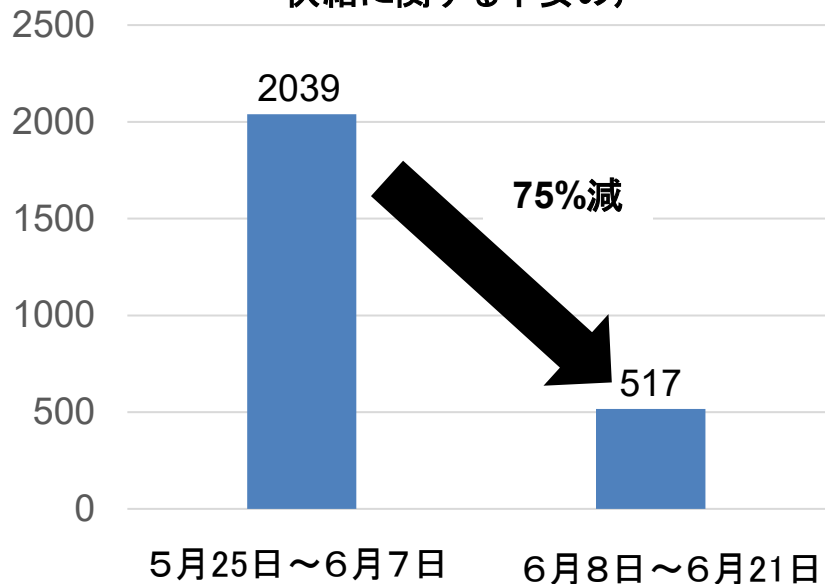
対象：6団体（自動車整備・バス・タクシー・トラック：20.2万事業者）

エンジンオイル

<事業者からいただいた声>

- ・ 前年より納入に時間がかかっているため、今後の事業継続に不安がある。
- ・ 使用量の多い油種について、納期未定や受注不可となっている。

供給に関する不安の声



シンナー

<事業者からいただいた声>

- ・ 順次納入されつつあるが、まだ入手しづらい状況が続いている。
- ・ 供給されているが、納入は平時よりも小口かつ時間を要している。

供給に関する不安の声

